

シルバー連合会

# あきた

No.87

2025.8

SILVER FEDERATION AKITA

高齢者活躍人材確保育成事業 シルバーフェア(湯沢市)



バザー



会員の網戸張替実演コーナー



ハギレで作るアクセサリー製作



アクアリウムボトル製作体験



豊かな高齢化社会を目指して

公益社団法人 秋田県シルバー人材センター連合会

## 目 次

- 年度別会員数および契約金額の推移…………… 2
- 令和7年度 定時総会会長挨拶…………… 3～4
- 令和7年度 定時総会報告…………… 5
- 令和7年度 事業計画概要…………… 6～7
- 東北シ連協 令和7年度 理事会開催報告…………… 8
- 東北シ連協 令和7年度 通常総会報告…………… 8
- 全シ協 令和7年度 定時総会報告…………… 9
- 令和6年度 理事長(会長)・事務局長合同会議概要 …… 10
- シルバー人材センター事業拡大計画の概要…………… 11
- 高齢者活躍人材確保育成事業…………… 12～14
- 賠償事故防止の徹底に向けて…………… 15
- 事務局業務日誌・編集後記 …… 16

年度別 会員数の推移



年度別 契約金額の推移





## 令和7年度定時総会会長あいさつ

(公社)秋田県シルバー人材センター連合会 会長 小松 賞

「令和7年度公益社団法人秋田県シルバー人材センター連合会定時総会」の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

先ずもって、秋田労働局の紫藤職業安定部長、秋田県の鈴木雇用労働政策課政策監、シルバー議連所属の国会議員の事務所の皆様には、ご多忙の中、ご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

秋田労働局や秋田県からの的確なご指導とともに、自由民主党シルバー人材センター議員連盟の皆様や議会の関係で出席できなかった県議の皆様には、シルバー人材センター事業に対する心強い支援をいただいておりますことを、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

さて、皆さんご承知のように、シルバー人材センター事業は、超高齢社会を迎えている中で、地域の高齢者の生活の安定のみならず、地域経済や地域社会の維持にとって、重要な役割を果たしております。

令和6年度の事業実績をみると、懸案であった会員数が30名の増加となったほか、請負・委任及び派遣実績も前年度を上回っております。これも、日々、会員拡大や就業拡大に努められております拠点センターの役員及び職員の皆様のご苦勞と努力の結果の賜物と、心より感謝申し上げます。

しかしながら、今後、高齢者の人口減も確実に見込まれる中で、シルバー人材センターが地域の高齢者や利用者の期待に応えていくためには、時代の変化に合わせた会員拡大対策や就業先の確保が極めて重要となっております。

各センターにおいては、各地域の現状と人口動態、労働市場等を分析し、それらに相応しい成果を上げているかを、常に、役職員が一体となって検証し、様々な課題に対応していただきたいと思っております。

センター経営の原資は、補助金と受託事業や派遣事業の事務手数料である自前収入となっているわけですが、補助金の増額が厳しい時代において、各種法令改正への対応や職員の処遇改善等も含めて安定経営を図っていくためには、自前収入をいかに向上させていくかが何よりも重要であります。

そのためには、会員と就業先の拡大が必須であり、連合会においては、全シ協の会員10万人拡大計画に合わせて6年間の中期目標を策定したところでありますが、単に、会員拡大のみならず、シルバー人材センターの活動の目安である就業延日数についても、同様に6年間の中期目標を策定したところであります。

会員拡大は、何よりもセンターが率先して取り組む重要事項であります。いくら立派な計画を策定しても、それらに取り組む職員の意識が低いと成果は上がりません。

国がセンターの会員確保対策として、連合会に受託しております「高齢者活躍人材確保育成事業」の活用状況をみても、センター間にばらつきがみられます。本来、各センターが率先して取り組むべき事業に国が財政的に支援をしている有難い事業を利用しないセンターは、何を考えて仕事をしているのか非常に疑問を感じているところであります。

今後、益々、厳しい経営環境が続く中で、組織を持続的・安定的に維持していくためには、役員も経営感覚を研ぎ澄ますとともに、職員には、前例踏襲主義から脱却し、市場分析能力等に基づく業務運営と公益事業団体職員としての高い意識を持って業務に当たってほしいと切に願っております。

最後になりますが、今日の総会が、今後の秋田県シルバー人材センター連合会の一層の発展に繋がることをご期待申し上げまして開会のご挨拶といたします。



## 令和7年度 定時総会報告

令和7年度定時総会が、6月17日（火）秋田市の「パーティーギャラリーイヤタカ」を会場に開催されました。

総会には、紫藤秋田労働局職業安定部長、鈴木秋田県産業労働部雇用労働政策課政策監がご出席され祝辞を頂戴いたしました。

祝辞では、超高齢社会の中で、地域社会や経済活動を持続的に維持していくためには、多様な経験や知識を有する高齢者が活躍することが必須であり、シルバー人材センターの役割の大きさと、センター活動に対する期待が述べられました。

また、自由民主党シルバー人材センター活性化議員連盟所属の、御法川信英衆議院議員、富樫博之衆議院議員、福原淳嗣衆議院議員、石井浩郎参議院議員の事務所よりご臨席をいただいたほか、国会議員の皆様から、急速に進む超高齢社会の中で、シルバー人材センターが様々な活動を通じて地域に貢献していることに対する感謝や、今後の活動に一層の期待を寄せるメッセージが寄せられました。また、予算特別委員会の総括質疑が当総会と重なった工藤嘉範県議会議員、杉本俊比古県議会議員、鈴木真実県議会議員、児玉政明県議会議員、小野一彦県議会議員からは、高齢社会の進展が著しい秋田県において、地域の高齢者に対する就業機会の提供や、地域貢献に取り組んでいるシルバー事業の重要性と今後の支援に向けてのメッセージも寄せられました。

その後、(一社)北秋田地域シルバー人材センターの加藤茂行理事長を議長に選出した後、議事に入り、第1号議案「令和6年度事業報告」、第2号議案「令和6年度収支決算」について事務局からの説明に対して審議がなされ、原案どおり承認されました。

続いて、「令和7年度事業計画」「令和7年度収支予算」について事務局より報告があり、今後一年間の活動方針が共有されました。



# 令和7年度 事業計画概要

高齢者の長年培った知識・経験を活かすとともに、それぞれの希望する働き方を選択できる「シルバー人材センター事業」（以下、「シルバー事業」という。）は、国の高齢者の雇用・就業対策の重要な柱として位置づけられているだけでなく、高齢者の健康保持や生きがいの充実による社会保障費の逓減、地域コミュニティ形成への貢献等、シルバー事業の枠組みを超えて副次的な効果からも、ますます積極的な事業展開が期待されていることから、秋田県シルバー人材センター連合会（以下、「連合会」という。）及び県内のシルバー人材センター（以下、「センター」という。）においては、地域における高齢者の多様な就業ニーズへの柔軟な労働力需給調整機能等を発揮して、地域社会の維持・発展に寄与してきたところであり、地域高齢者の社会参加のツールとして一定の信頼と評価を得て来ているところである。

特に、少子高齢化の進展が著しい秋田県においては、高齢者の果たす役割は大きくなっている状況にあることから、これらの期待に応えるとともに、事業に参加する高齢者が、安心して働ける環境の整備に向けて取り組みを強化することとする。

令和7年度の事業運営にあたっては、①シルバー事業の周知徹底による会員拡大と就業先の拡大による基盤強化、②健全経営に向けたコスト意識の徹底、③自治体との連携強化による地域課題解決に向けた公益事業団体としての取り組みの強化、④公益事業団体に相応しい組織体制の構築と、役職員に相応しい知識の習得と意識の醸成、⑤重篤事故防止の徹底を重点事項として、県内のセンターと連携して事業を推進していくものとする。

具体的には、

## 1 シルバー事業の周知徹底による基盤の強化

- (1) 会員の拡大
- (2) 多様な就業機会の拡大
- (3) 請負事業の推進
- (4) 労働者派遣事業の適正運営

## 2 健全経営に向けたコスト意識の徹底

## 3 自治体との連携強化による地域課題の解決に向けた取り組みの強化

## 4 公益事業団体に相応しい組織体制の構築と役・職員の資質の向上

- (1) 事務局体制の整備
- (2) 役職員の資質の向上

## 5 安全就業の徹底

- (1) 就業上の事故防止の徹底
- (2) 労災事故防止の徹底
- (3) 損害賠償事故防止の徹底

## 6 法令遵守の徹底

- (1) 関係法令に精通するための会議等の開催
- (2) 適正就業推進の徹底
- (3) 会員、発注者に対する意識の啓発

## 7 デジタル化の促進による事務の簡素・合理化の推進

## 8 受託調整

## 9 有料職業紹介事業

## 10 調査研究事業

## 11 普及啓発事業

## 12 専門部会開催による課題と対応策の検討・協議

## 13 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

- (1) センター制度の周知・広報の実施
- (2) 職場見学及び就業体験の実施
- (3) センターでの就業に必要な技能講習の実施



## 東北シ連協 令和7年度 理事会開催報告

東北シルバー人材センター連絡協議会の理事会が、令和7年6月2日（月）に山形市の「ホテルメトロポリタン山形」を会場に開催されました。

理事会では、総会に上程する「令和6年度事業報告」、「令和6年度収支決算」、「令和7年度事業計画」、「令和7年度収支予算」について、審議がなされ原案どおり可決されました。

また、総会の開催日を令和7年6月19日（木）に召集することも承認され、理事会を終了しました。

その後、参加者による意見交換が行われ、会員拡大に向けた取り組みと課題や、フリーランス新法遵守に向けた請負等の契約、センター運営に重要な就業先の拡大等について、各連合会の現状が報告されるなど、貴重な時間となりました。

## 東北シ連協 令和7年度 通常総会報告

東北シルバー人材センター連絡協議会の通常総会が、令和7年6月19日（木）に山形市の「山形グランドホテル」を会場に開催されました。総会には、繁忙期にもかかわらず、東北の各センターから三役以外にも多くの実出席があり盛大に開催することが出来ました。

総会では、鹿間会長のあいさつの後、ご来賓の山形労働局の榛葉杏子職業安定部長、山形県奥山郡産業労働部長よりご祝辞をいただきました。

その後、議事に入り、「令和6年度事業報告」、「令和6年度収支決算」、「令和7年度事業計画」、「令和7年度収支予算」について審議がなされ、原案どおり承認されました。

東北シ連協の大きな行事であります令和7年度の研修について、「理事長等役員・事務局長合同研修」は10月6日に青森市、「職員研修会」は、9月9日に福島市で開催されることとなりました。

審議終了後は、出席者による意見交換が行われ、厳しい運営が続くセンター経営に大いに参考となる時間を過ごすことが出来ました。

## 全シ協 令和7年度 定時総会報告

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の定時総会が、令和7年6月24日（火）に、東京都の日本教育会館一ツ橋ホールにおいて開催されました。

総会に先立ち、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団研究部長の石橋智昭氏より、「生きがい就業の介護予防効果について」と題し、高齢者の生き生きとした生活の実現に向けて、示唆に富んだ内容の講演がありました。

その後、金子会長のあいさつに続いて厚生労働省の祝辞の後に議案審議に入りました。

令和6年度の収支補正予算案報告の後、令和6年度事業報告、令和6年度収支決算が上程され、原案通り可決されました。

引き続き、令和7年度の事業計画及び収支予算案が報告された後、役員の報酬及び費用に関する規程が審議され、いずれも原案通り承認されました。

その後、役員選任の件が上程され、審議の結果、提案どおりの役員候補者の方が選任されました。

6年にわたり全シ協の会長として活躍された金子順一氏が今総会をもって退任され、後任には、西島喜義氏が選任され、今後の全シ協の舵取りを担うこととなりました。

金子前会長には、在任中に2回来秋していただき、貴重なアドバイスをいただくなど大変お世話になりました。今後のさらなるご活躍をお祈りします。

今回の総会には、当連合会の三役に加えて、拠点センターの理事長及び事務局長にもご参加いただき感謝申し上げます。

インボイス制度への対応、フリーランス新法の施行等、厳しい経営環境が続きますが、秋田県連合として一致団結して困難な情勢に立ち向かっていくことを改めて決意した総会でした。



## 令和6年度 理事長(会長)・事務局長合同会議概要

令和7年3月14日(金)、秋田市の「パーティーギャラリーイヤタカ」を会場に、「令和6年度 理事長(会長)・事務局長合同会議」が開催されました。

会議では、連合会の茂木事務局長より、「都道府県連合事務局長会議」の伝達と、「令和7年度事業計画」について詳細な説明がなされた後、全シ協および全国のシルバー人材センター連合会、シルバー人材センターが一斉に取り組むこととなっている会員10万人純増に向けての全シ協の考え方と、それを受けた秋田県連合会の考え方と計画の骨子について説明がありました。

会員拡大は、全シ協や連合会が率先して取り組むことは勿論ですが、会員確保がセンター経営を左右する事をセンター自身が理解しないと、画餅に帰すこととなり、センター経営を圧迫してくることも説明されました。

次に、安全就業対策について説明があり、特に、①重篤事故防止の徹底、②飛び石事故の防止について説明がありましたが、飛び石事故防止については、その危険性と保険料の増大や保険の引き受け手の問題などの危機的な状況下にあるにもかかわらず、依然として増加傾向にあることから、事故防止徹底に向けた取り組みについての指示とともに、年度当初から、希望するセンターの会員を対象とした講習会を開催するので、積極的に活用し、事故撲滅に向けた取り組みを強化するよう指示がありました。

また、労働者やフリーランス等の弱者保護強化の動きの中で、適正就業の遵守の徹底に向けた取り組みが説明され、偽装請負は論外とて、それ以外にも法令遵守の必要性と法令違反が指摘された場合の反動の大きさ等についても説明と指示がありました。

さらに、厚生労働省がセンター会員拡大を目的として連合会に委託している「高齢者活躍人材確保育成事業」の取り組み状況が説明され、積極的に活用し会員増に結びつけているセンターもあれば、利用実績が全くなく危機感に乏しいセンター等、それぞれのセンターによって取り組み状況の大きな違いが業績に直結している旨の説明がありました。

また、秋田労働局の事務指導結果については、経理処理に一定の課題を抱えるセンターとその対応、センターの適正就業に対する労働局や一般企業の厳しい視線を踏まえた厳格な対応が必要であり、もし、違法行為があれば、信頼を根底から覆す重大な結果をもたらすことが厳しく説明されました。

## シルバー人材センター事業拡大計画の概要

少子高齢化が進展する我が国において、経済や社会活動を持続的に維持していくためには、年齢や性別にかかわらず、それぞれの希望や能力に応じた社会参加が必要となっている。このような状況下で、長年培ってきた技術や技能を活かしながら、それぞれの健康状態や経済状況に応じた柔軟な働き方が可能なシルバー人材センターに対する評価と期待は益々大きくなってきている。そのような中で、継続雇用制度の普及やコロナ禍の影響等により、シルバー人材センター会員は減少傾向が続き、このままでは、地域の需要や期待に応えることが難しくなることが予想される。このため、全シ協や全国のシルバー人材センターにおいては、会員拡大を図り、組織の活性化・拡大を目指してきたところであるが、会員の拡大は厳しい局面にある。

全シ協では、これまでも第1次と第2次の計画において、会員の100万人達成を目指してきたところであるが、コロナ禍の影響等もあり減少傾向に歯止めがかからないまま現在に至っている。

このような中で、全シ協においては、会員100万人を目的としつつも、中期的な目標として、当面、過去最高の会員数を目指すこととした「新たな仲間づくり計画～10万人の増加を目指して」を策定し、令和7年度から6年間にわたって取り組むこととしたところである。

秋田県連合においても、全シ協の計画に沿いつつ、県内の各シルバー人材センターの会員数の平準化を目指した新たな計画の策定を行ったところである。また、計画の策定に当たっては、会員数の確保のみならず、センター運営の原資となる事業収入を安定的に確保していくために、就業延人数についても計画に盛り込んだところである。

特に、秋田県においては、人口の3分の1を占める秋田市の粗入会率が、極めて低いことから、当面、秋田市の粗入会率を1%（全国平均1.6%、秋田県平均1.7%）とすることを前提に目標値を策定したところである。

シルバー人材センター事業は、センターの力量や経営環境にかかわらず、地域の高齢者や利用者が同等のサービスを受けることが必要であり、本計画の履行状況については、各センターとのヒアリングや協議を踏まえて確認と検証を行い計画の達成を目指すこととしている。



# 令和7年度高齢者活躍人材確保育成事業実施計画

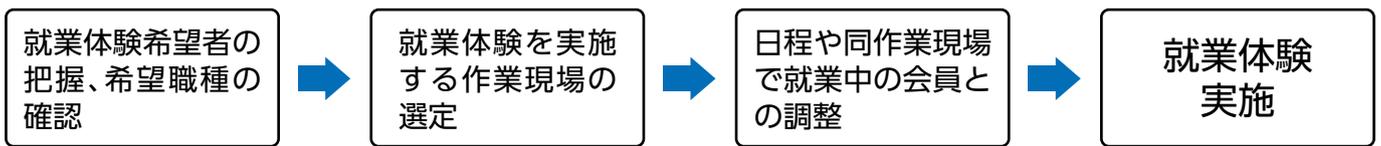
## 1 シルバー人材センター事業に関する周知・広報

地域の高齢者や企業に対し、新聞・市町村広報誌等の媒体を活用したり、セミナー・説明会を開催してシルバー事業の周知・広報を行うことにしていますが、今年10月に大仙市において「大曲仙北地区シルバーフェア」、由利本荘市において「由利本荘市・にかほ市シルバーフェア」の開催を予定しています。

他の地域のセミナー、説明会などは、今後、各センターと日程や内容を調整しながら開催したいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

## 2 就業体験(職場見学)

シルバー人材センターに関心はあるが就業に対して不安を感じている高齢者に、会員と一緒に働いてみることで、センターでの就業に自信を持ってもらい会員の拡大を図ります。また、高齢者の能力をどのように活用していいか迷っている企業に、実際に会員から就業してもらうことで、企業の不安を払拭し、就業先の拡大を図ります。



スーパー品出し作業



空き家管理



障子張替え作業



草刈、清掃作業



### 3 技能講習

シルバー人材センターの就業に不安を感じている高齢者や新たな分野での活躍を希望しているセンター会員に技能講習を行うことで、自信を持って就業できるようにします。個人で申し込むと有料となる講習でもすべて無料で受講できますので、地域の高齢者の皆様に積極的な周知をお願いします。

地区	No.	地 域	講 習 名	定員	期 間	日数	主会場（予定）
県北地区	1	北秋田市	庭木剪定講習	15	7/17(木) ～ 7/18(金)	2	前野会館
	2	大館市	刈払機講習	15	8/7(木) ～ 8/8(金)	2	上川沿公民館
	3	鹿角市	介護サポート講習	10	10/9(木) ～ 10/10(金)	2	花輪市民センター（コモッセ）
	4	能代市	ハスクリンク講習	15	11/6(木) ～ 11/7(金)	2	能代市中央公民館
中央地区	5	潟上市	庭木剪定講習	15	7/24(木) ～ 7/25(金)	2	潟上市市民センター飯田川館
	6	由利本荘市	チェーンソー講習	15	8/19(火) ～ 8/21(木)	3	由利本荘市職業訓練センター
	7	男鹿市	庭木剪定講習	15	9/4(木) ～ 9/5(金)	2	サンワーク男鹿
	8	にかほ市	庭木剪定講習	15	9/9(火) ～ 9/10(水)	2	老人憩の家 午ノ浜温泉
	9	五城目町	刈払機講習	15	9/29(月) ～ 9/30(火)	2	五城目町町民センター (中央公民館)
	10	秋田市	介護送迎運転講習	10	10/21(火) ～ 10/24(金)	4	秋田県青少年交流センター 太平自動車学校
	11	八郎潟町	介護サポート運転講習	10	11/13(木) ～ 11/14(金)	2	八郎潟太平自動車学校
県南地区	12	美郷町	チェーンソー講習	15	6/10(火) ～ 6/12(木)	3	本館コミュニティセンター
	13	大仙市	庭木剪定講習	15	6/24(火) ～ 6/25(水)	2	大曲交流センター
	14	横手市	刈払機講習	15	7/8(火) ～ 7/9(水)	2	黒川地区交流センター オアシス館
	15	湯沢市	パソコン講習	10	11/20(木) ～ 11/21(金)	2	OAステーション湯沢校

## 賠償事故防止の徹底に向けて

全国的に刈払機による飛び石事故の高額賠償が大きな問題となっており、このまま推移すると、保険料の負担増にとどまらず、保険の引き受け会社がなくなることも危惧されております。

秋田県においても、飛び石事故の危険性等については再三にわたり注意喚起してきているところでありますが、発生件数の減少がみられず、賠償額も年を追うごとに高額化してきております。

特に、令和6年度においては、駐車場の草刈り作業中、飛び石により複数台の車に被害を与え、賠償額が一千万円を超えるなど、センター経営にも重大かつ深刻な影響を与える事案が発生しました。

このため、連合会では、これまでの講習や指示に加えて、令和7年度当初から、刈刃メーカーの（株）アイデックの認定講師による、飛び石の飛散防止につながる安全な草刈りについて、全センターに対して希望を募り、希望のあったセンターから順次講習会を開催してきました。

22センターのうち17センターから講習会開催の希望があり、274名の方が受講しました。

県外のセンターでは、賠償事故の増加により、草刈り作業からの撤退を進めているセンターもありますが、秋田県においては、草刈り作業は請負業務の中でも大きなウェートを占めており、今後も安全に配慮しながら受注していく必要があると考えております。事故防止に当たっては、連合会やセンター職員がいくら頑張っても、実際に作業をする会員の方が危険性を認識して作業に当たる必要があります。

今回の講習では、より多くの会員が参加できるカリキュラムとしておりますが、今後も多くの会員に受講してもらうとともに、会員間においても事故防止の意識の共有を図っていただきたいと思います。

また、センターとしても、飛散防止ネット等の使用の徹底と、それに伴う経費増を発注者に対して説明し、安全作業に必要な経費負担であることを理解してもらう必要があります。

連合会では、今回の講習の結果を検証したうえで今後の飛び石事故防止対策を講じていきたいと考えております。

## 事務局業務日誌

主なもののみ掲載してあります。

- |                           |                                |
|---------------------------|--------------------------------|
| 4.17 ◆幹事会                 | 7.24 第1回SC理事長(会長)・事務局長<br>合同会議 |
| 4.23 第1回派遣手数料検討委員会        | 8.6 安全・適正就業対策部会                |
| 5.8 監事監査                  | 8.7 基盤強化対策部会                   |
| 5.30 ◇都道府県連合事務局長会議(オンライン) | 8.8 事務簡素・合理化検討部会               |
| 6.3 ◆理事会                  | 8.25 ◇職業紹介責任者講習(仙台市)           |
| 6.17 定時総会                 | 9.9 ◆職員研修会                     |
| 6.19 ◆通常総会                |                                |
| 6.24 ◇定時総会                |                                |
| 7.11 ◇派遣元責任者講習(仙台市)       |                                |

◇全シ協主催  
◆東北シ連協主催

### シルバー人材センター紹介動画の お知らせ

連合会ホームページに、これまでTV番組で放送された動画や、TVCMのパナーを設置しています。

当ホームページは、スマートフォンからでもご覧いただけますので、是非ご利用ください。



秋田県シルバー人材 検索



## 編 | 集 | 後 | 記

記事でも触れましたが、飛び石事故による物損事故が後を絶ちません。平成27年度～令和元年度の5年間の飛び石事故平均年間発生件数が10.2件に対し、令和2年度～令和6年度の平均年間発生件数は17.2件でした。さらに直近3年で見ると19.0件と、年々増加傾向にあります。

件数の増加に伴い、賠償額も増加しており、昨年度は1,000万円を超える事故も発生しました。会員の高齢化や暑さによる集中力の低下なども要因として考えられますが、最近では飛び石を低減する刈刃を使用するセンターもあります。

連合会も飛び石については会議等で毎回注意喚起をしておりますが、一向に減少が進まないことから、刈刃メーカー協力のもと、希望するセンターを対象に安全な草刈りに関する講習会を企画しました。引き続きセンターには会員に対し、他人ごとだと思わず、離れた場所であっても飛散防止ネットの設置等、安全に配慮した作業を行うよう、指導をお願いします。(大山)

## シルバー連合会 あきた No.87

○発行年月 令和7年8月

○編集発行 (公社)秋田県シルバー人材センター連合会  
秋田市山王6丁目1-13 山王プレスビル8F  
TEL 018(888)4680 FAX 018(888)4681

ホームページ [秋田県シルバー人材](#) [検索](#)